

基本計画	4	施策番号	33	総合戦略	-	予算科目	8	2	2	道路交通部路政課・建設課	
事務事業名	道路の改良整備									説明書ページ	253
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	952,717	38,400	45,990	684,000		184,327				
	30年度(2018)	995,916	41,800	171,050	687,300		95,766				
	対前年	43,199	3,400	125,060	3,300		88,561				
29年度(2017)決算	979,662	48,400	123,576	575,700		231,986					
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	は 事業費に含む				
31年度(2019)	1,018,237	8.4人	65,520			65,520					
30年度(2018)	1,060,656	8.3人	64,740			64,740					

交通機能の保全と住環境の改善を図るため、老朽化した道路の改良を行うとともに、道路舗装に係る維持管理を効率的に行うため、路面状態等の調査・点検を実施し、予防保全工事を行う。

1 道路の改良整備 440,953

主な経費

実施設計委託料 24,260

道路工事費 403,291

対象 市道浅川74号線ほか35路線

2 道路予防保全 504,764

調査・点検委託料 24,524

対象 路面性状調査 幹線1級21号線ほか 延長49.2km

路面下点検 幹線1級6号線ほか 延長29.7km

実施設計委託料 6,740

道路工事費 473,500

対象 幹線1級23号線ほか15路線

路面性状調査

道路舗装の補修・改修工事等の必要性を検討するために、舗装表面のひび割れ、わだち掘れ、平坦性の破損状態を定量的に把握し評価する調査

路面下点検

道路陥没を未然に防止するために、道路上から路面下の状態を確認するもの。

道路上からレーダーにより地中調査を実施する一次調査と、一次調査の結果に基づき、スコープカメラを直接路面下に挿入し空洞状況の確認を行う二次調査を実施している。



道路予防保全工事(施行前)



(施行後)

< 交通安全施設の整備へ一部事業を組み替えたことに伴う減 >

【事業効果】

- ・ 計画的な予防保全を行うことによる工事費の平準化
- ・ 道路のライフサイクルコストの縮減と長寿命化

基本計画	4	施策番号	33	総合戦略	-	予算科目	8	2	2	道路交通部路政課・管理課・建設課・補修センター	
事務事業名	交通安全施設の整備									説明書ページ	253
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	628,814	3,500	14,860	65,400	81	544,973				
	30年度(2018)	553,644	3,850	16,550	45,800	83	487,361				
	対前年	75,170	350	1,690	19,600	2	57,612				
29年度(2017)決算		576,664		13,120	49,600	274	513,670				
		事業費+職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~の計	は事業費に含む				
31年度(2019)		724,754	12.3人	95,940	0.6人	1,182	97,122				
30年度(2018)		647,244	12.0人	93,600	0.6人	1,157	94,757				

交通事故の防止と安全で住みやすい環境を確保するため、通学路などの交通安全施設の整備及び維持管理を行う。また、道路照明灯及びトンネルの維持管理を効率的に行うため、調査・点検を実施し、予防保全等工事を行う。

本年度は、東京2020大会に向け、八王子駅周辺エリアで誰もがわかりやすい道路標識及び案内サインを整備する。

1 交通安全施設の整備	179,224
主な経費	
交通安全施設整備工事費	76,300
通学路交通安全施設整備工事費	58,300
案内サイン整備工事費	23,242
2 交通安全施設の維持	352,305
主な経費	
道路照明灯電気使用料	298,022
道路照明灯修繕料	32,932
道路標識改修工事費	1,300
3 道路照明灯の予防保全	77,160
主な経費	
道路照明灯調査等委託料	5,000
道路照明灯予防保全等工事費	71,940
対象 幹線2級25号線(15基)、市道由木753号線(14基)ほか	
4 トンネルの予防保全	20,125
ひよどり山トンネル点検委託料	15,154
左入トンネル・つつじヶ丘トンネル補修工事費	4,971



案内サイン設置イメージ



案内サイン表示イメージ

【事業効果】

- ・ 防護柵(ガードレール等)・道路標識・区画線等の整備による適切な交通環境の確保
- ・ 計画的な道路照明灯の予防保全の実施による、維持管理費の平準化と安全な道路環境の確保

基本計画	4	施策番号	33	総合戦略	-	予算科目	8	2	2	道路交通部路政課・補修センター	
事務事業名	道路・水路の維持補修									説明書ページ	253
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	532,255				532,255					
	30年度(2018)	504,958		159,200		345,758					
	対前年	27,297		159,200		186,497					
29年度(2017)決算	529,795		56,800			472,995					
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	・ は 事業費に含む					
31年度(2019)	779,515	31.7人 247,260			247,260						
30年度(2018)	752,218	31.7人 247,260			247,260						

通行の利便性及び市民の安全な生活環境を維持するため、道路、水路及び排水施設の補修、清掃等を行う。また、地域コミュニティの活性化を図るため、市民と行政の協働による道路維持管理制度(道路アドプト制度)を推進する。

1 道路・水路の維持補修 366,390

主な経費

道路等清掃委託料 35,500
 除草・草刈委託料 56,785
 道路工事費 227,500
 直営作業用原材料費 24,200

2 道路アドプト制度の推進 671

主な経費

清掃用具購入費 393
 ボランティア保険料 263

参加団体数 60団体(平成31年(2019年)1月1日現在)

3 多摩ニュータウン道路・水路の維持補修 165,194

主な経費

道路維持委託料 165,000

【事業効果】

- ・ 道路、水路及び排水施設の補修、清掃等を行うことによる、通行の利便性及び安全な生活環境の確保
- ・ 市民と行政の協働による道路維持管理制度(道路アドプト制度)を通じた、地域コミュニティの活性化

基本計画	6	施策番号	47	総合戦略	-	予算科目	8	2	2	水循環部水環境整備課	
事務事業名	水路の改良整備								説明書ページ	255	
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	307,159	425		203,000				103,734		
	30年度(2018)	343,549	414	60,800	228,000				54,335		
	対前年	36,390	11	60,800	25,000				49,399		
29年度(2017)決算		310,357		29,900	180,000				100,457		
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計					
	31年度(2019)	389,839	10.6人 82,680			82,680			・ は 事業費に含む		
	30年度(2018)	429,349	11.0人 85,800			85,800					

近年増加傾向にある局地的な集中豪雨等による溢水を防ぎ、雨水流出の抑制を図るため、水路改良及び雨水排水施設の整備を行うとともに、道路集水ますの浸透化工事を実施する。また、浸水対策重点地区である初沢地区及び長沼地区において、水路の流下能力を向上させるため、雨水対策整備を行う。

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 1 水路・雨水排水施設の整備 | 270,159 |
| 主な経費 | |
| 水路改良整備工事費 | 202,740 |
| 対象 谷野町1164番地先(谷萩川)、中野山王二丁目16番先 | |
| 雨水排水施設工事費 | 14,400 |
| 対象 北野町584番地先ほか | |
| 道路集水ます浸透化工事費 | 7,095 |
| 対象 30か所(天神町10番地先ほか) | |
| 2 浸水対策重点整備 | 37,000 |
| 主な経費 | |
| 水路分岐箇所測量設計委託料 | 3,300 |
| 雨水対策工事費 | 32,800 |
| 対象 初沢地区・長沼地区 | |



水路改良整備工事(施行前)



(施行後)

【事業効果】

- ・ 水路の改修により溢水等による水害を防ぎ、市民生活の安全を確保
- ・ 床上浸水被害の防止

基本計画	6	施策番号	47	総合戦略		予算科目	8	2	2	水循環部水環境整備課、 まちなみ整備部公園課
事務事業名	(充)水辺づくりの推進							説明書ページ	255・271	
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	111,392	6,440	2,100	37,300	41,475	24,077			
	30年度(2018)	60,500		4,200	17,000	27,000	12,300			
	対前年	50,892	6,440	2,100	20,300	14,475	11,777			
29年度(2017)決算	44,200		1,800	10,000	23,887	8,513				
	事業費+職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~の計					
31年度(2019)	137,132	3.3人 25,740			25,740	は 事業費に含む				
30年度(2018)	76,100	2.0人 15,600			15,600					

生物多様性に配慮し、市民が水辺に親しみ憩える水辺環境を保全するとともに、地域の特性を活かした水辺の再生を図る。

本年度は、市街地における水辺の創設と浅川の水量を確保するため、子安神社(明神町)から湧出する湧水の導水整備工事を行う。また、高尾山口駅前の案内川左岸広場の整備に向けた基本設計を行うほか、全国都市緑化はちおうじフェアのレガシーとして、サテライト会場となった南浅川周辺地域において、地域住民との協働により、南浅川の除草等維持業務を行う。

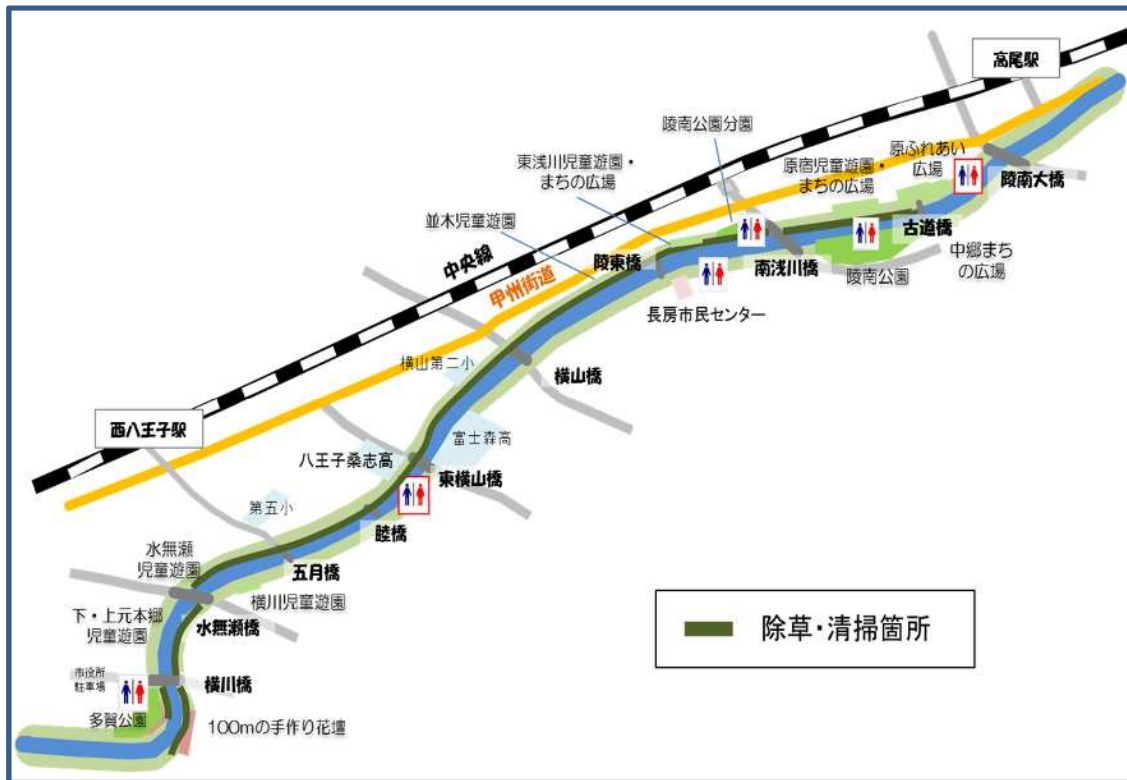
1 生態系豊かな水辺の整備 500
 実施設計委託料 500
 対象 叶谷榎池(叶谷町1079番地)

(充) 2 河川水量の確保 65,062
 主な経費
 (充) 都市型水辺基本設計委託料 2,970
 明神町導水管整備工事費 46,376

整備スケジュール

整備内容	30年度(2018)			31年度(2019)			32年度(2020)			33年度(2021)		
導水管整備	← 設計 →			← 整備工事 →								
水辺創出				← 基本設計 →			← 設計・整備工事 →					

(新) 3 南浅川水辺でつなぐまちづくり 13,475
 主な経費
 維持委託料 13,317
 内容 南浅川古道橋から浅川合流点までの除草、清掃等水辺の維持



南浅川水辺でつなぐまちづくり 除草・清掃箇所

(新) 4 高尾山口駅周辺整備	4,355
主な経費	
測量委託料	990
案内川左岸広場基本設計委託料	3,203

スケジュール

案内川左岸整備

平成31年度(2019年度)	測量、基本設計
平成32年度(2020年度)	実施設計
平成33年度(2021年度)	整備工事

5 いこいの水辺事業	28,000
施設維持管理委託料	26,500
施設維持工事費	1,500
東京都管轄の河川敷にある緑地や休憩所、遊歩道などの維持管理を受託 受託河川 谷地川、山田川、大栗川、大田川	

【事業効果】

- ・ 潤いと安らぎをもたらす水辺に親しめる場所の確保
- ・ 町会・自治会等の市民参加による地域コミュニティの醸成
- ・ 流域下水道への負担軽減(年間約35,000千円)
- ・ 浅川の水量確保(1万^{m³})

基本計画	4	施策番号	32	総合戦略	-	予算科目	8	2	3	道路交通部路政課・計画課・建設課	
事務事業名	八王子駅周辺交通環境の改善									説明書ページ	257
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	1,780,935	333,000	24,550	880,300	500,000	43,085				
	30年度(2018)	371,184		36,200	275,300		59,684				
	対前年	1,409,751	333,000	11,650	605,000	500,000	16,599				
29年度(2017)決算	137,591		41,100	60,000	873	35,618					
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	は 事業費に含む					
31年度(2019)	1,812,135	4.0人 31,200			31,200						
30年度(2018)	400,824	3.8人 29,640			29,640						

八王子駅周辺における交通環境の向上を図るため、主要道路の整備を行う。
 本年度は、東京都の「無電柱化チャレンジ支援事業」を活用し、市道八王子1323号線の無電柱化に向けた基本計画を策定する。また、市道八王子1393号線の整備及びマルベリーブリッジの西放射線ユーロードへの延伸工事を完了する。

1 八王子駅周辺交通環境改善 252,113

主な経費

市道八王子1323号線無電柱化基本計画策定委託料	10,300
市道八王子1393号線工事委託料	91,000
市道八王子1393号線道路工事費	91,200
富士見通り電柱等移設補償費	50,000

無電柱化対象路線

路線	地区	実施内容	掲載ページ
市道八王子1323号線 (無電柱化チャレンジ支援事業対象)	子安町一丁目	基本計画策定	本ページ
市道八王子1393号線	子安町一丁目	道路工事	
富士見通り	中町ほか	電柱等移設	
れんが通り	旭町ほか	電線共同溝本体設置等工事	土木費 208ページ
市道八王子134号線 (無電柱化チャレンジ支援事業対象)	旭町ほか	電線共同溝予備修正設計 電線共同溝設置に伴う道路試掘工事	土木費 208ページ

整備スケジュール

路線	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	33年度 (2021)	34年度 (2022)	35年度 (2023)	36年度 (2024)	37年度 (2025)	38年度 (2026)	39年度 (2027)
市道八王子 1323号線	調査・設計・移設補償・電線共同溝設置工事・道路工事									
市道八王子 1393号線	電線共同溝設置工事・道路工事									
富士見通り	移設補償・電線共同溝設置工事・道路工事									
れんが通り	設計・移設補償・電線共同溝設置工事・道路工事									
市道八王子 134号線	設計・移設補償・電線共同溝設置工事・道路工事									

2 八王子駅北口駅前広場等整備

1,528,822

主な経費

マルベリーブリッジ延伸工事技術支援委託料 5,490

マルベリーブリッジ延伸工事費(平成30・31年度(2018・2019年度)継続)

1,520,000

マルベリーブリッジ延伸全体事業費(平成27～31年度(2015～2019年度)) (単位 億円)

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	都支出金	市債	基金繰入金	一般財源
17.9	3.3	0.3	8.5	5.0	0.8

無電柱化チャレンジ支援事業

東京都が区市町村に対し、歩道幅員2.5メートル未満などの路線を対象に、無電柱化の推進を支援する制度。従来の手法では無電柱化に必要な地上機器の設置が困難とされる路線において、最新技術・低コスト手法を導入することにより、無電柱化に「チャレンジ」することを支援し、東京都の補助金を活用し、区市町村に事業経験や技術を蓄積させることを目的としている。

【事業効果】

- ・ 都市防災機能の強化と安全で快適な歩行空間の確保
- ・ 良好な都市景観創出
- ・ 街の賑わい創出と歩行者の移動時間短縮

基本計画	4	施策番号	33	総合戦略	-	予算科目	8	2	3	道路交通部計画課・建設課	
事務事業名	幹線・生活道路の整備								説明書ページ	255	
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	605,831		32,775	429,900				143,156		
	30年度(2018)	503,462		60,600	345,200				97,662		
	対前年	102,369		27,825	84,700				45,494		
29年度(2017)決算		529,783		70,494	276,700				182,589		
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計					
	31年度(2019)	700,211	12.1人 94,380		0.6人 1,189	95,569			・ は 事業費に含む		
	30年度(2018)	595,502	11.8人 92,040		0.6人 1,182	93,222					

都市基盤の充実及び生活環境の改善を図るため、歩行者や車両の通行に支障をきたし防災面で課題のある狭あい道路について、拡幅改修や交差点の改良等を行う。また、建築基準法第42条第2項の「みなし道路」について、市民との協働により道路の整備を行う。

1 生活道路の整備	537,649
主な経費	
みなし道路の整備に係る測量委託料	12,100
道路拡幅等実施設計委託料	38,014
道路拡幅等工事費	298,576
用地取得費	54,089
用地取得に伴う補償費	86,807
対象	
道路工事 市道恩方34号線ほか13路線	
用地取得 市道川口150号線ほか11路線	
「建築基準法のみなし道路の保全及び整備に関する条例」に該当する後退用地等	
2 幹線1級17号線(北大通り)の歩道整備	68,182
主な経費	
歩道整備工事費	7,500
用地取得費	25,205
用地取得に伴う補償費	31,690
対象	
元横山町二丁目(旧八王子警察署付近)～新町(第五中学校西側)間の歩道	

【事業効果】

- ・ 生活道路の拡幅による、緊急車両の通行や災害時の避難路確保
- ・ 歩道拡幅による、安全な歩行空間確保

基本計画	4	施策番号	33	総合戦略	-	予算科目	8	2	4	道路交通部路政課・建設課	
事務事業名	橋りょうの維持・補修									説明書ページ	257
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	393,000	9,500	4,750	239,700		139,050				
	30年度(2018)	410,500	14,850	39,100	253,500		103,050				
	対前年	17,500	5,350	34,350	13,800		36,000				
29年度(2017)決算		291,345	11,000	13,719	166,700		99,926				
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	・ は 事業費に含む				
31年度(2019)		410,940	2.3人 17,940			17,940					
30年度(2018)		428,440	2.3人 17,940			17,940					

地域交通の安全と災害時の通行機能を確保するため、「八王子市橋守計画」に基づき、橋りょうの点検を行うとともに、予防保全工事及び老朽化した橋りょうの補強工事を行う。

1 橋守計画 99,000
 橋りょう点検委託料 99,000

橋りょう点検数 (単位 橋)

区分		点検数
跨線橋	協定先 京王電鉄(株)	7 (2) 1
跨道橋	中日本高速道路(株)	2
道路橋・横断歩道橋		69
道路橋 2		60
計		138 (2)

- 1 ()は補強工事の実施過程で点検を行うもの(内書)
 2 市職員が道路橋点検士の資格を取得し点検を実施

2 橋りょう予防保全 95,000
 主な経費
 予防保全工事費 83,000
 対象 浅川大橋ほか5橋

3 橋りょう補強 199,000
 主な経費
 補強工事委託料 60,000
 対象 上小比企橋(京王電鉄(株)との協定工事)ほか1橋
 補強工事費 136,000
 対象 暁橋ほか5橋

八王子市橋守計画
 橋りょうの維持管理を効率的かつ効果的に行うため、計画的に定期点検や工事を行い、橋りょうの延命化を図る計画

< 橋りょうの補強 165,000 >
 めじろ橋補強工事完了に伴う減

【事業効果】 ・ 「予防保全型」管理橋約300橋のライフサイクルコスト縮減 参考 今後100年間で従来の「対症療法型」79億円 「予防保全型」20億円 59億円削減

基本計画	4	施策番号	27	総合戦略		予算科目	8	3	1	まちなみ整備部まちなみ景観課	
事務事業名	都市景観形成									説明書ページ	259
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	10,807				4,219	6,588				
	30年度(2018)	14,357				3,282	11,075				
	対前年	3,550				937	4,487				
29年度(2017)決算	10,820		1,500		2,293	7,027					
	事業費+職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～の計						
31年度(2019)	84,127	9.4人 73,320			73,320	・は事業費に含む					
30年度(2018)	95,477	10.4人 81,120			81,120						

良好なまちなみづくりを推進するため、規制誘導や指導啓発を行う。また、「八王子市屋外広告物条例」と景観計画の連携により、屋外広告物の許可、簡易除却等を行い良好な景観形成を促進する。

本年度は、高尾山参道周辺地区の屋外広告物地域ルールを策定するほか、八王子駅周辺地区の屋外広告物地域ルール策定に向けたワークショップを開催する。

1 景観計画運用	1,783
主な経費	
景観審議会委員報酬	1,008
(構成員:学識経験者、市民関係団体、公募市民)	
景観アドバイザー謝礼	468
2 屋外広告物許可	3,954
主な経費	
違反屋外広告物等撤去委託料	2,337
3 高尾地域景観形成	4,935
高尾山参道周辺地区屋外広告物地域ルールの策定委託料	
(平成30・31年度(2018・2019年度)継続)	2,435
屋外広告物景観適正化更新促進事業補助金	2,500
4 八王子駅周辺地域景観形成	88
ワークショップ講師謝礼	88

スケジュール

	31年度(2019)	32年度(2020)	33年度(2021)	34年度(2022)
高尾地域 景観形成	高尾駅北口屋外広告物景観適正化更新促進事業補助金			
	高尾山参道周辺地区屋外 広告物地域ルール策定	周知期間	運用開始	
八王子駅周 辺地域 景観形成	ワークショップ等	(仮称)八王子駅周辺地区屋外 広告物地域ルール策定		周知期間

< 高尾地域景観形成 屋外広告物景観適正化更新促進事業補助金 3,100 >
事業進捗による減

【事業効果】

・「八王子市屋外広告物条例」と、景観計画とを連携させた良好な景観形成の推進

参考 八王子の景観への市民評価度

平成30年度(2018年度) 55.0 %

平成34年度(2022年度) 60.0 % (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	27 32	総合戦略		予算科目	8	3	1	都市計画部交通企画課 都市計画部土地利用計画課	
事務事業名	都市計画調査									説明書ページ	259
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	5,566					5,566				
	30年度(2018)	16,344		7,709			8,635				
	対前年	10,778		7,709			3,069				
29年度(2017)決算		12,900		3,002			9,898				
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	は 事業費に含む				
31年度(2019)		21,946	2.1人 16,380			16,380					
30年度(2018)		32,724	2.1人 16,380			16,380					

地域の活性化及び利便性の向上を図るまちづくりの方向性を検討するため、調査を実施する。本年度は、八王子駅周辺の円滑な交通環境を整えるため、前年度に実施した路上駐車や交通渋滞等の実態把握及び、来訪者の予測等の調査をもとに対応方針の取りまとめを行う。また、八王子南バイパスや日野バイパス延伸に伴う沿道整備及び下水処理施設用地等の大規模公有地の活用など、北野地区における周辺環境の変化に対応するため、前年度の検討結果をもとに具体的な事業の検討を行い、今後の土地活用方策の取りまとめを行う。

1 交通円滑化対策 2,425
 懇談会参加者謝礼 148
 八王子駅周辺交通円滑化対策検討業務委託料 2,277

2 北野地区土地活用基礎調査 3,141
 主な経費
 懇談会参加者謝礼 122
 北野地区土地活用基礎調査業務委託料 3,000

スケジュール

平成30年度(2018年度) 導入機能・土地利用計画・土地利用計画・施設計画の検討
 事業手法の検討、事業費の算出
 平成31年度(2019年度) 具体的な事業の検討、成果取りまとめ

< 交通円滑化対策 八王子駅周辺交通円滑化対策検討業務委託料 3,223 >
 事業進捗による減

< 都市計画基礎調査 4,209 >
 事業完了による減

< 北野地区土地活用基礎調査 2,000 >
 事業進捗による減

【事業効果】

・ バスや自動車、歩行者が集中する主要駅における、安心して利用できる動線の確保や円滑な乗り換えなど安全性・利便性の向上

参考 「交通の便」満足度

平成30年度(2018年度) 46.0 %

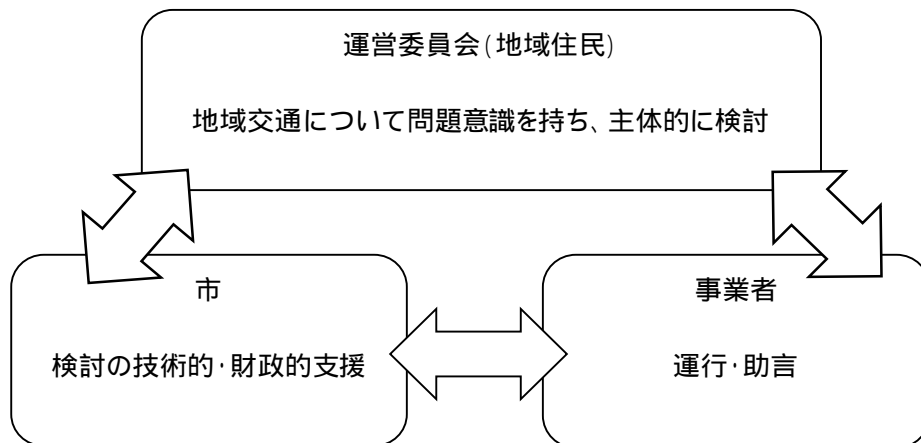
平成34年度(2022年度) 51.0 % (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	35	総合戦略		予算科目	8	3	1	都市計画部交通企画課	
事務事業名	地域公共交通の充実									説明書ページ	259
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	5,580				30	5,550				
	30年度(2018)	4,167				30	4,137				
	対前年	1,413				0	1,413				
29年度(2017)決算	3,847				40	3,807					
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計						
31年度(2019)	12,600	0.9人 7,020			7,020	・ は事業費に含む					
30年度(2018)	10,407	0.8人 6,240			6,240						

「八王子市公共交通計画」の基本目標のひとつである多様な交通手段による移動を確保するため、地域住民・事業者・行政が協働で地域交通事業を実施する。
 本年度は、小津町地域のほか打越旭ヶ丘団地において、バス及びタクシーの運行経費の一部を補助する。

地域公共交通活性化協議会参加者謝礼	155
バスマップ印刷費	709
交通空白地域交通事業運営費補助金	4,716
小津町地域	平成19年度(2007年度)運行開始
(新) 打越町旭ヶ丘団地	平成31年度(2019年度)運行開始予定

地域公共交通の実施体制



地域交通事業

集落が点在して交通需要が少ない、又はバス車両では運行ができないような市内の交通空白地域()等において、生活交通の確保を目的に、地域住民が主体となって運営する交通事業

鉄道駅から概ね700m以遠かつバス停留所から概ね300m以遠の地域

【事業効果】

・ 地域交通事業による交通空白地域の解消

参考 市民の「公共交通の利便性に対する満足度」

平成30年度(2018年度) 61.0 %

平成38年度(2026年度) 70.0 % (「八王子市交通マスタープラン」目標値)

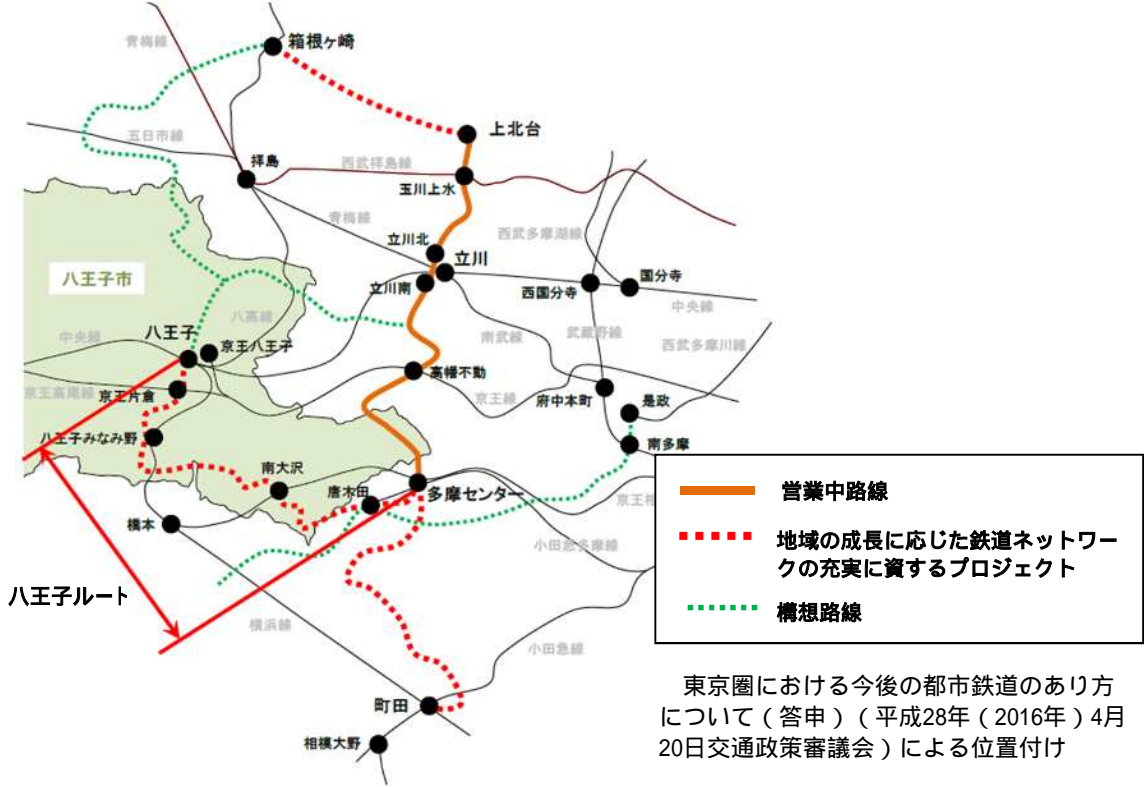
基本計画	4	施策番号	34	総合戦略	-	予算科目	8	3	1	都市計画部交通企画課	
事務事業名	多摩都市モノレールの整備促進									説明書ページ	259
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	663				663					
	30年度(2018)	1,755				1,755					
	対前年	1,092				1,092					
29年度(2017)決算	800					800					
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~ の計	・ は 事業費に含む					
31年度(2019)	3,783	0.4人 3,120			3,120						
30年度(2018)	6,435	0.6人 4,680			4,680						

市民の交通便利性の向上及び多摩地域の都市間連携を図るため、多摩都市モノレール八王子ルートの整備を促進する。
 本年度は、早期整備実現に向け、多摩都市モノレール八王子ルート整備促進協議会において、気運醸成を図るための啓発活動を実施する。

協議会負担金
 協議会構成員

663

八王子市長、八王子商工会議所会頭
 大学コンソーシアム八王子会長、八王子市町会自治会連合会会長
 八王子商店会連合会会長
 (公社)八王子観光コンベンション協会会長



東京圏における今後の都市鉄道のあり方について(答申)(平成28年(2016年)4月20日交通政策審議会)による位置付け

< 協議会負担金 1,153 >
 啓発看板設置完了による減

【事業効果】	
・ 周辺都市への交通連絡性の向上	
・ 延伸計画の認知度向上による誘致に向けた地元の気運の醸成	
参考 「交通の便」の満足度	
平成30年度(2018年度)	46.0 %
平成34年度(2022年度)	51.0 % (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	27	総合戦略		予算科目	8	3	1	都市計画部都市総務課
事務事業名	多摩ニュータウンの持続可能なまちづくり								説明書ページ	259
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	782								782
	30年度(2018)	6,161		2,700						3,461
	対前年	5,379		2,700						2,679
29年度(2017)決算	4,067		2,050							2,017
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計					
31年度(2019)	13,262	1.6人 12,480			12,480	・ は事業費に含む				
30年度(2018)	16,301	1.3人 10,140			10,140					

人口減少や少子高齢化の進行及び大規模住宅団地の老朽化等が想定される多摩ニュータウン八王子市域の持続可能なまちづくりを推進する。

本年度は、前年度策定した「多摩ニュータウンまちづくり方針」に基づき、地域住民等が主体となったまちづくりを推進するための体制づくりやワークショップの支援を行う。

主な経費

懇談会・ワークショップ等参加者謝礼

696

多摩ニュータウンまちづくり方針

多摩ニュータウンに関わる地域住民、企業、住宅等事業者、大学、行政等が共有し、多様な主体との連携・協働による多摩ニュータウンの持続可能なまちづくりに向けた方針



< 方針策定支援業務委託料 5,544 >
方針策定完了による減

【事業効果】

・ まちの魅力や地域活力が向上することによる持続可能なまちづくりを推進

参考 住み続けたいと思う市民の割合

平成30年度(2018年度) 87.6%

平成34年度(2022年度) 92.0% (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	27	総合戦略		予算科目	8	3	1	都市計画部土地利用計画課	
事務事業名	集約型都市づくり									説明書ページ	259～261
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	4,300					4,300				
	30年度(2018)	7,254		3,400			3,854				
	対前年	2,954		3,400			446				
29年度(2017)決算		6,251		2,970			3,281				
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	は 事業費に含む				
31年度(2019)		12,100	1.0人 7,800			7,800					
30年度(2018)		15,834	1.1人 8,580			8,580					

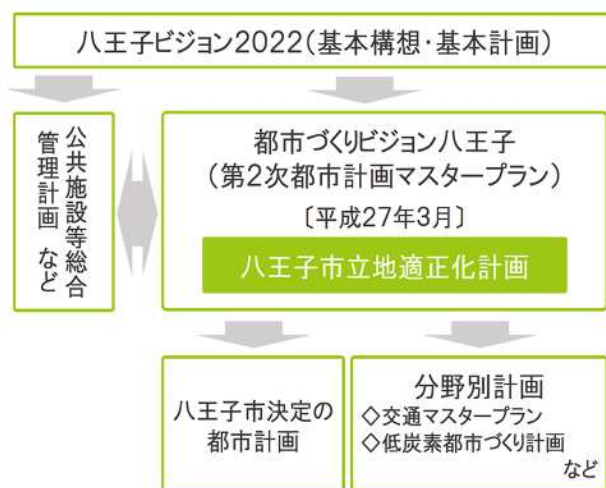
都市計画マスタープランに掲げる「拠点・沿道ネットワーク型都市構造」の実現に向け、人口減少・超高齢社会に対応し、持続的な都市経営と人口規模・構造に見合った居住や都市機能の立地を誘導する集約型都市づくりを推進する。

本年度は、前年度に策定した立地適正化計画の素案を基にパブリックコメントを実施して計画を策定するほか、計画を反映した都市計画図の作成を行う。また、「都市再生特別措置法」に基づき新たに発生する届出事務の準備を行う。

立地適正化計画策定に伴う都市計画図等作成業務委託料

4,300

計画期間 平成31年度(2019年度)から10年間



スケジュール

平成31年度(2019年度)

パブリックコメント、公表(12月)

平成32年度(2020年度)

届出事務開始

立地適正化計画

「都市再生特別措置法」に基づき、居住機能や医療・福祉、商業などの日常生活を支える都市機能の立地の適正化と、これらにアクセスする持続可能な地域公共交通の充実に向けた、都市全体を見渡した計画

〔事業効果〕

- ・ 拠点・沿道ネットワーク型都市構造の実現を推進し、住環境を長期的に維持
- ・ 計画に位置付けた事業に対して国庫補助金補助率のかさ上げ(交付率40～45・50%)
財政支援措置の想定される事業 八王子駅南口集いの拠点整備 等

基本計画	4	施策番号	27	総合戦略		予算科目	8	3	1	都市計画部土地利用計画課	
事務事業名	(充)市街化調整区域の集落における住民主体のまちづくり支援									説明書ページ	261
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	6,976				6,976					
	30年度(2018)	3,146	1,000	1,000		1,146					
	対前年	3,830	1,000	1,000		5,830					
29年度(2017)決算	3,832		1,870			1,962					
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~ の計	・ は 事業費に含む					
31年度(2019)	16,336	1.2人 9,360			9,360						
30年度(2018)	7,826	0.6人 4,680			4,680						

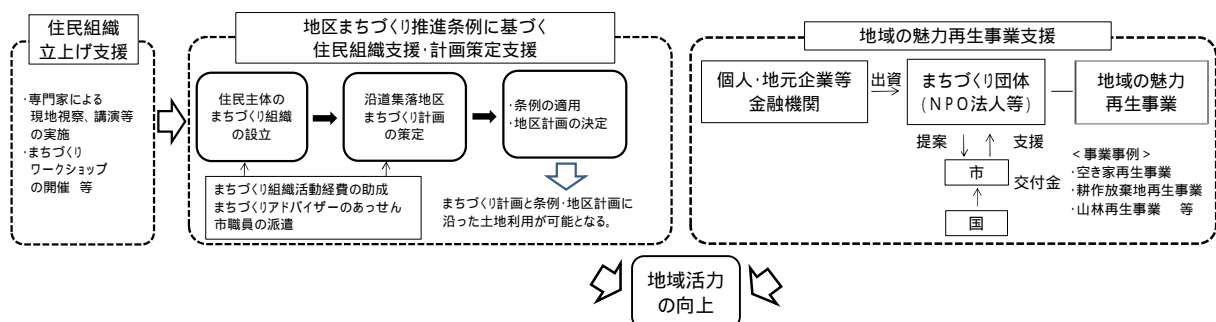
市街化調整区域内の7つの沿道集落地区の活力向上を図るため、「地区まちづくり推進条例」に基づく協議会等住民組織の立上げに向けたワークショップを開催するほか、住民によるまちづくり計画策定に対して支援する。また、地域資源を活用した空き家再生など地域の魅力再生事業に対して補助し、地域住民主体のまちづくりを支援する。

主な経費

ワークショップ等専門家謝礼	216
(充)まちづくり計画策定支援業務委託料	1,700
(充)地域の魅力再生事業補助金	5,000
補助対象	まちづくり団体等が地域住民と協働で実施する公共性の高い取組
補助上限額	250万円

各地域における取組状況

小津地域	NPO法人小津俱樂部が中心となり、空き家・耕作放棄地の再生、地域資源を活かしたコミュニティビジネスを実施	恩方地域	NPO法人小津俱樂部が中心となり、市内事業者との協議会において、地域資源を活用した新たなコミュニティビジネスの可能性を検討
高月地域	平成30年(2018年)12月に「NPO法人はちぶる」が発足し、地元農業者と市内事業者の協働による、耕作放棄地を活用した酒米生産の継続と、新たな酒造整備による持続的なまちづくりを検討	上川地区	平成30年(2018年)4月に「NPO法人まちづくりかみかわ」が発足し、地域の高齢化や人口減少などの地域課題に対応するため、明治大学の提案を受けつつ、まちづくり活動を開始



【事業効果】

- ・ 住民主体のまちづくり計画を策定することによるまちづくり気運の醸成
- ・ 地域の魅力再生事業の実施による地域活力の向上

参考 平成29年度(2017年度) 小津地域

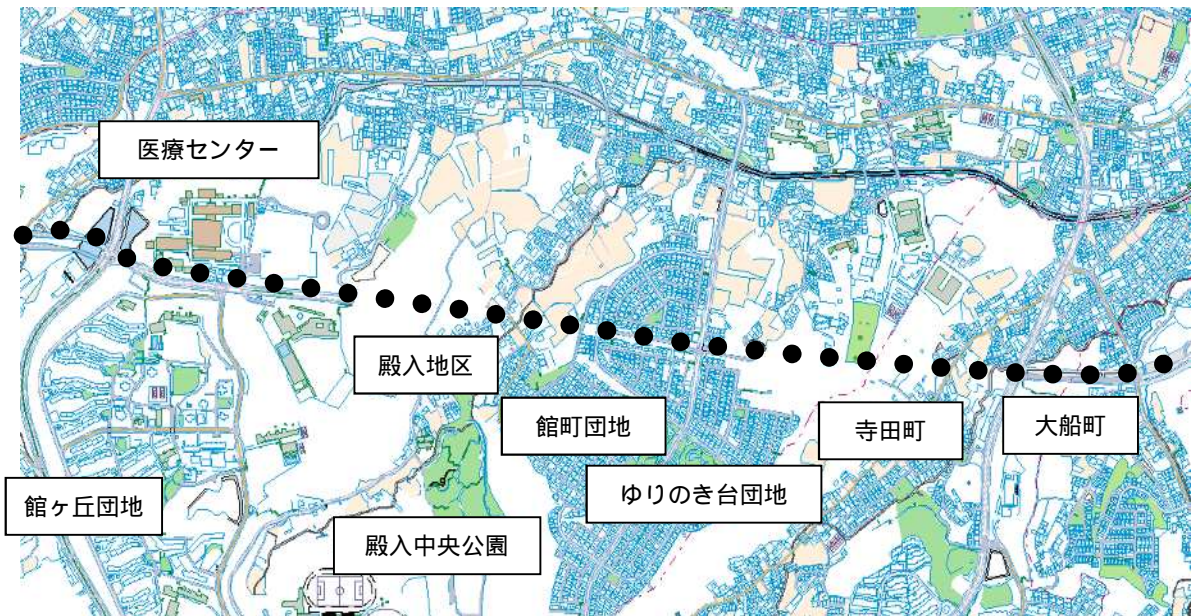
空家再生 約600m²
耕作放棄地再生 約2,500m²
放置山林再生 約5,000m²

事業に対する費用対効果(総便益/事業費) 4.1

基本計画	4	施策番号	34	総合戦略	-	予算科目	8	3	1	都市計画部交通企画課	
事務事業名	八王子南バイパス関連整備								説明書ページ	261	
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	7,636								7,636	
	30年度(2018)	22,768								22,768	
	対前年	15,132								15,132	
29年度(2017)決算	3,241									3,241	
	事業費+職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～の計	は事業費に含む					
31年度(2019)	13,876	0.8人 6,240			6,240						
30年度(2018)	29,788	0.9人 7,020			7,020						

国が施行する、市域を東西に横断し地域間を結ぶ八王子南バイパス事業の推進を図るため、関連する市道横山60号線の拡幅及び殿入川管理用通路の整備を行う。
 本年度は、道路の拡幅に伴い実施する殿入川整備の概略設計を行う。

市道横山60号線拡幅に伴う殿入川概略設計委託料 7,636



スケジュール

区分	31年度(2019)	32年度(2020)以降
市道横山60号線		用地測量・取得 実施施設設計・整備工事
殿入川	概略設計	
殿入川管理用通路		用地測量・取得

< 測量委託料 15,244 >
 事業進捗による減

【事業効果】

- 国が施行する八王子南バイパス事業の関連道路整備による周辺住民の利便性の向上
 参考 「交通の便」の満足度
 平成30年度(2018年度) 46.0 %
 平成34年度(2022年度) 51.0 % (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	32	総合戦略	-	予算科目	8	3	1	拠点整備部都市整備課	
事務事業名	高尾駅北口駅前広場及び南北自由通路等の整備									説明書ページ	261
	事業費	国庫支出金		都支出金		市債		その他		一般財源	
予算	31年度(2019)	70,721				48,000				22,721	
	30年度(2018)	119,232		3,200		86,000				30,032	
	対前年	48,511		3,200		38,000				7,311	
29年度(2017)決算	65,460		13,090		10,000				42,370		
	事業費 + 職員費	職員費		嘱託員		臨時職員		~ の計		・ は 事業費に含む	
31年度(2019)	108,161	4.8人	37,440						37,440		
30年度(2018)	152,382	4.3人	33,150						33,150		

東京の西の玄関口である高尾駅周辺地域の安全性・利便性を高めるため、観光拠点及び交通結節点として重要な高尾駅及び駅周辺を整備する。
 本年度は、高尾駅北口駅前広場整備に係る整備工事及び設計等を行うとともに、南北往来のための通行費用の補助を行う。

1 高尾駅北口駅前広場の整備	65,476
主な経費	
水路整備詳細設計委託料	11,376
駅前広場整備工事費	42,963

スケジュール

平成31年度(2019年度)	暫定バスロータリー整備工事、水路整備詳細設計
平成32年度(2020年度)	回転テーブル撤去工事、広場整備工事、水路整備工事



2 南北自由通路の整備及び橋上駅化	5,245
主な経費	
高尾駅通行費用補助金	4,977

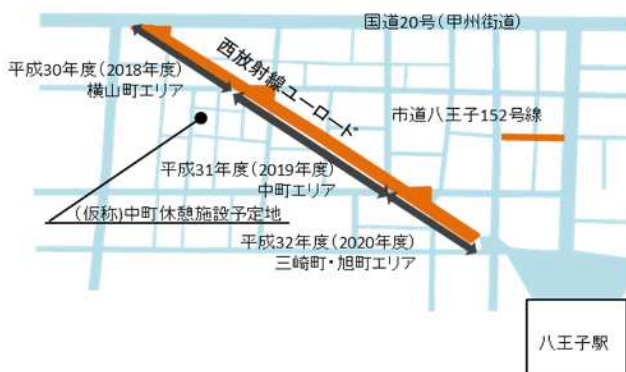
< 高尾駅北口駅前広場の整備 移転補償費 23,309、用地取得費 21,810 >
 事業進捗による減

【事業効果】
・ 駅前広場整備による車両の滞留を解消
・ 歩行者の安全性の向上
・ 通行費補助による駅南北往来者の移動負担軽減
距離: 約600m(初沢踏切経由) ~ 約900m(町田街道経由) が約230mに短縮
時間: 約7分(初沢踏切経由) ~ 約11分(町田街道経由) が約3分に短縮

基本計画	5	施策番号	41	総合戦略		予算科目	8	3	1	拠点整備部市街地整備課、 都市計画部土地利用計画課	
事務事業名	(充) 中心市街地の総合的な再生									説明書ページ	261
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	186,853	23,850		141,500		21,503				
	30年度(2018)	176,153	28,800	13,200	124,000		10,153				
	対前年	10,700	4,950	13,200	17,500		11,350				
29年度(2017)決算		74,954		7,270	39,000		28,684				
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	は 事業費に含む				
31年度(2019)		236,773	6.4人 49,920			49,920					
30年度(2018)		213,593	4.8人 37,440			37,440					

中心市街地の活性化を図るため、「八王子市中心市街地活性化基本計画」に基づき、回遊性や滞留性を高めるまちづくりを推進する。
 本年度は、住民主体のまちづくりを実現するため、ワークショップを開催するほか、西放射線ユーロード(中町エリア)の景観舗装等整備工事を行う。また、中心市街地の憩い交流する場となる(仮称)中町休憩施設の整備に向けた実施設計に係る経費を負担する。

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1 中心市街地の総合的な再生 | 14,592 |
| 主な経費 | |
| 市道八王子152号線道路改良工事費 | 13,730 |
| 2 中心市街地『街の灯り』整備 | 798 |
| 主な経費 | |
| 公共料金 | 588 |
| 3 中心市街地再生に向けた住民主体のまちづくり支援 | 272 |
| 主な経費 | |
| ワークショップ専門家謝礼 | 216 |
| 4 西放射線ユーロード周辺のにぎわい創出 | 171,191 |
| 西放射線ユーロード(中町エリア)景観舗装等整備工事費 | 167,671 |
| (新) (仮称)中町休憩施設整備実施設計負担金 | 3,520 |



スケジュール

区分	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)
西放射線ユーロード 景観舗装等整備工事	横山町エリア	中町エリア	三崎町・旭町 エリア
(仮称)中町休憩施設整備		実施設計	工事 供用開始 (7月)

【事業効果】

- ・ 中心市街地の回遊性や滞留性の向上によるにぎわいの創出
- ・ 子育て世代の利便性向上

参考 「八王子市中心市街地活性化基本計画」目標値

歩行者通行量	平成28年度(2016年度)	124,297人
	平成34年度(2022年度)	128,764人
小売業年間商品販売額	平成28年(2016年)	774億円
	平成34年(2022年)	805億円

基本計画	4	施策番号	27	総合戦略		予算科目	8	3	1	拠点整備部市街地整備課	
事務事業名	旭町・明神町地区周辺まちづくりの推進									説明書ページ	261
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	81,257	12,500	36,052	15,600	17,105					
	30年度(2018)	106,205	11,000	16,150	26,000	53,055					
	対前年	24,948	1,500	19,902	10,400	35,950					
29年度(2017)決算	41,247		14,890	11,000	15,357						
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	・ は 事業費に含む					
31年度(2019)	117,917	4.7人 36,660			36,660						
30年度(2018)	137,405	4.0人 31,200			31,200						

「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」に掲げる賑わい・交流・憩いのまちの実現に向け、東京都と共同で実施する産業交流拠点の整備にあわせ、旭町街区と明神町街区との一体的なまちづくりを推進する。

本年度は、市街地再開発事業の実施に向け権利者調整等を進めていくほか、れんが通りに電線共同溝を設置するとともに、東京都の無電柱化チャレンジ事業を活用し、市道八王子134号線の無電柱化に向けての設計及び試掘工事を実施する。

1 旭町街区地区開発の推進	14,864
主な経費	
事業化推進検討等調査委託料	3,352
地区開発交通量に伴う交通処理検討業務委託料	11,477
2 旭町・明神町地区内の都市基盤整備	66,393
主な経費	
市道八王子134号線電線共同溝予備修正設計委託料	8,822
市道八王子134号線電線共同溝設置に伴う道路試掘工事費	12,430
れんが通り電線共同溝本体設置等工事費	41,400

< 関連事業 > 八王子駅周辺交通環境の改善 土木費194・195ページ参照

< 旭町・明神町地区内の都市基盤整備 25,464 >
事業進捗による減



【事業効果】

・ 中心市街地の回遊性や滞留性の向上によるにぎわいの創出

参考 「八王子市中心市街地活性化基本計画」目標値

歩行者通行量	平成28年度(2016年度)	124,297人
	平成34年度(2022年度)	128,764人
小売業年間商品販売額	平成28年(2016年)	774億円
	平成34年(2022年)	805億円

基本計画	4	施策番号	27	総合戦略		予算科目	8	3	1	都市計画部都市総務課	
事務事業名	八王子駅南口集いの拠点整備									説明書ページ	261
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	29,598		14,000			15,598				
	30年度(2018)	10,296		5,000			5,296				
	対前年	19,302		9,000			10,302				
29年度(2017)決算	11,471		5,860			5,611					
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~ の計	・ は 事業費に含む					
31年度(2019)	49,098	2.5人 19,500			19,500						
30年度(2018)	22,776	1.6人 12,480			12,480						

学び・交流・防災の3つの機能を備えた、利用・滞在を促す「サードプレイス」を実現するため、八王子医療刑務所跡地を活用し、公園、ミュージアム、ライブラリ、交流スペースが一体となった集いの拠点の整備を行う。

本年度は、事業手法の決定に向けた調査検討を行い、整備内容を具体化する。また、都市計画決定に向けた図書の作成を行うほか、用地取得に向けて、既存施設の解体設計を行う。

主な経費

懇談会参加者謝礼 (構成員:学識経験者等)	144
整備事業化検討調査等支援業務委託料(平成30・31年度(2018・2019年度)継続)	11,772
境界確定測量委託料	3,916
都市計画図書作成委託料	2,215
既存施設解体工事設計委託料	10,367

スケジュール

平成30・31年度(2018・2019年度)	整備基本計画策定、事業手法決定・事業条件等検討
平成32年度(2020年度)	都市計画決定
平成33年度(2021年度)	用地取得、事業者公募開始
平成34年度(2022年度)以降	事業者決定、設計・整備、開設

集いの拠点 施設イメージ

防災機能を備えた公園の中にある、学びを支える歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリと、交流を促す交流スペースが一体となった複合機能施設



サードプレイス

自宅、職場(学校)と異なる、コミュニティの核となる居心地の良い第三の居場所

【事業効果】

- 集いの拠点における学びや交流を通じてまちへの愛着を育てていくことにより、市民力・地域力の向上及び将来の定住人口を維持
- 参考 住み続けたいと思う市民の割合
 - 平成30年度(2018年度) 87.6%
 - 平成34年度(2022年度) 92.0% (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	34	総合戦略	-	予算科目	8	3	1	拠点整備部都市整備課	
事務事業名	圏央道八王子西インターチェンジ関連の基盤整備									説明書ページ	261
	事業費	国庫支出金		都支出金		市債		その他		一般財源	
予算	31年度(2019)	36,386				32,000				4,386	
	30年度(2018)	3,584								3,584	
	対前年	32,802				32,000				802	
29年度(2017)決算		21,513								21,513	
	事業費 + 職員費	職員費		嘱託員		臨時職員		~ の計		・ は 事業費に含む	
31年度(2019)		51,986		2.0人	15,600				15,600		
30年度(2018)		21,524		2.3人	17,940				17,940		

圏央道八王子西インターチェンジ周辺のまちなぎわいの創出や防災機能及び市民の利便性向上を図るため、基盤整備を行う。
本年度は、周辺地域の生活道路の整備に向けた設計を行う。

主な経費

八王子西インターチェンジ地区協議会の委員報酬	32
詳細設計委託料	35,854

スケジュール

平成31年度(2019年度)	設計、測量
平成32年度(2020年度)	測量、用地取得
平成33年度(2021年度)	用地取得
平成34・35年度(2022・2023年度)	整備工事、周辺環境モニタリング



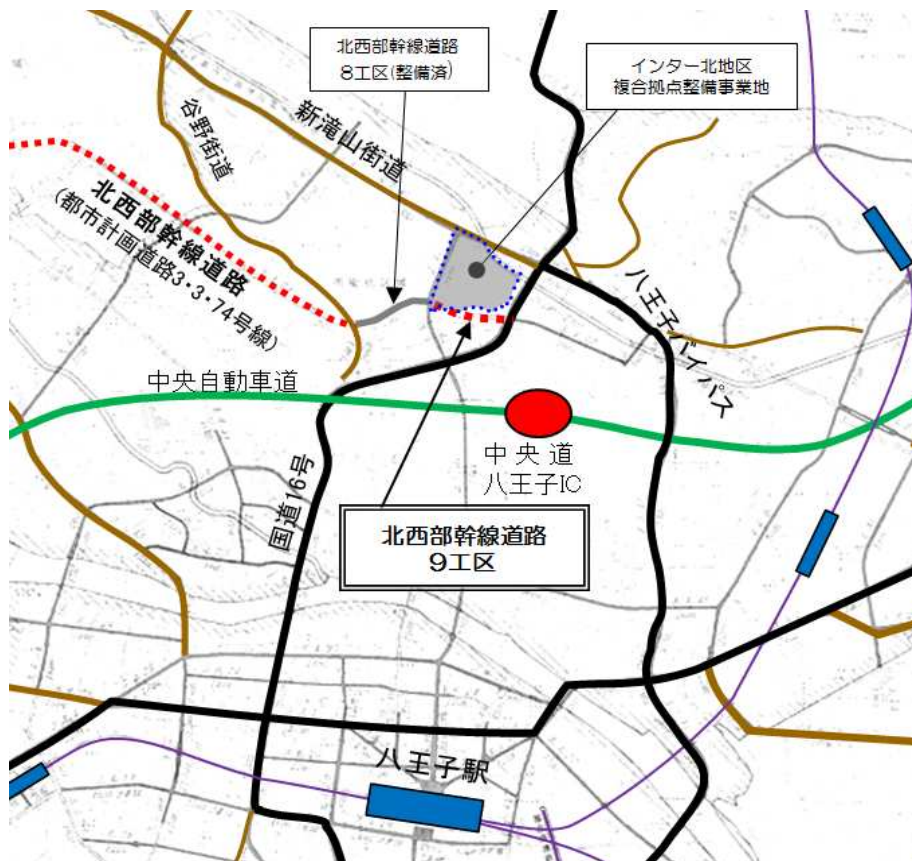
【事業効果】

- ・ 圏央道八王子西インターチェンジと関越・東北自動車道方面との相互アクセスによるまちなぎわい創出
 - ・ 防災機能及び市民の利便性向上
- 参考 「交通の便」の満足度
- | | |
|----------------|---------------------------|
| 平成30年度(2018年度) | 46.0 % |
| 平成34年度(2022年度) | 51.0 % (「八王子ビジョン2022」目標値) |

基本計画	4	施策番号	34	総合戦略	-	予算科目	8	3	1	拠点整備部都市整備課	
事務事業名	中央自動車道八王子インターチェンジ北地区周辺の基盤整備								説明書ページ	263	
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	3,409								3,409	
	30年度(2018)	10,000								10,000	
	対前年	6,591								6,591	
29年度(2017)決算	7,474									7,474	
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	は 事業費に含む					
31年度(2019)	7,309	0.5人 3,900			3,900						
30年度(2018)	17,020	0.9人 7,020			7,020						

中央自動車道八王子インターチェンジ北地区において、広域交通の要衝という立地条件を活かしたまちづくり実現に向け、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」により優先整備路線として位置づけられた北西部幹線道路(都市計画道路3・3・74号線)9工区及び周辺の基盤整備を行う。
本年度は、事業化に向けた調査検討及び関係機関との協議調整を行う。

事業化に向けた調査検討業務委託料 3,409



< 調査検討業務委託料 6,591 >
事業進捗による減

【事業効果】	
・ 道路ネットワークの強化による地域の防災機能及び市民の利便性の向上	
参考	「交通の便」の満足度
平成30年度(2018年度)	46.0 %
平成34年度(2022年度)	51.0 % (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	35	総合戦略		予算科目	8	3	1	道路交通部交通事業課	
事務事業名	(充)地域循環バス「はちバス」の運行									説明書ページ	263
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	61,971					61,971				
	30年度(2018)	57,564					57,564				
	対前年	4,407					4,407				
29年度(2017)決算	56,263						56,263				
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計						
31年度(2019)	73,671	1.5人 11,700			11,700	は 事業費に含む					
30年度(2018)	69,264	1.5人 11,700			11,700						

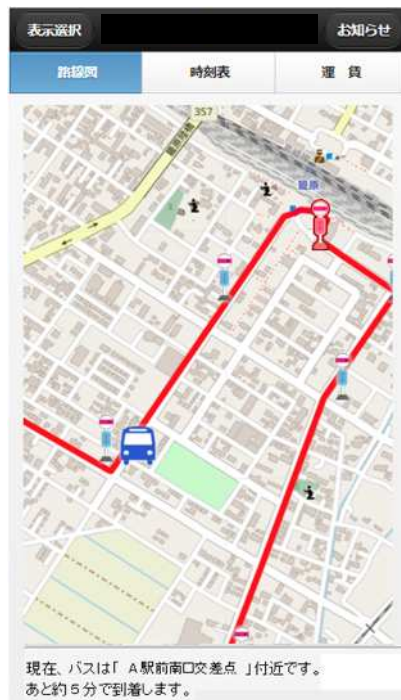
民間の路線バスが運行できない地域の市民の外出を支援するため、民間バス事業者の協力を得て、地域の足となる地域循環バス「はちバス」を運行する。

本年度は、待合環境の改善を図るため、スマートフォンではちバスの走行状況や到着時間が確認できる「バスロケーションシステム」を導入する。

主な経費

(新)バスロケーションシステム構築委託料	655
運行経費補助金	61,026

- 北部コース 西八王子駅～道の駅八王子滝山入口～東海大学八王子病院
- 西部コース 北の根東(川口町)～四谷～西八王子駅
- 東部コース 片倉駅～北野駅～あったかホール～長沼駅～日邸・NEC・日生団地(長沼町)
- 西南部コース 松子舞団地(元八王子町)～さくら台団地・城山手～高尾駅南口



バスロケーションシステムの画面のイメージ

【事業効果】

- ・ 交通空白地域における市民の移動手段の確保
 - ・ バスロケーションシステムによる待合環境の改善
- 参考 公共交通の利便性に対する満足度
- | | |
|----------------|---------------------------|
| 平成30年度(2018年度) | 60.6 % |
| 平成34年度(2022年度) | 67.0 % (「八王子ビジョン2022」目標値) |

基本計画	4	施策番号	33	総合戦略	-	予算科目	8	3	1	道路交通部交通事業課	
事務事業名	放置自転車対策								説明書ページ	263	
	事業費	国庫支出金		都支出金		市債		その他	一般財源		
予算	31年度(2019)	87,684						11,118	76,566		
	30年度(2018)	83,505						11,023	72,482		
	対前年	4,179						95	4,084		
29年度(2017)決算		77,551						12,756	64,795		
	事業費 + 職員費	職員費		嘱託員		臨時職員		~ の計	・ は 事業費に含む		
31年度(2019)		115,764		3.6人	28,080	4人	11,693		39,773		
30年度(2018)		111,585		3.6人	28,080	4人	11,336		39,416		

歩道等の通行機能を確保し歩行者の安全を図るため、「八王子市自転車等の放置の防止に関する条例」に基づき、通行の妨げとなる放置自転車等の抑制、整理、撤去を行う。

主な経費

放置自転車対策業務指導員報酬・共済費 4人	11,693
放置自転車対策業務委託料	67,362
檜原町自転車保管所土地借上料	2,305
堀之内自転車保管所施設使用料	1,037

【事業効果】

- ・ 歩道等の通行機能の確保による交通事故の抑制及び、災害時の救急・消防活動に必要な空間の確保
- ・ 放置自転車等の抑制、整理、撤去によるまちの美観の保全

区 画 整 理 事 業

区分	事業期間	施行面積	総事業費	実施済事業費	平成31年度 (2019)	平成30年度 (2018)	1 建物移転 進捗率
上野第二 地区	昭和62～ 平成38年度 (1987～ 2026年度)	ha 29.7	億円 約402	39,274,312	165,718	124,120	% 100.0
打越	平成4～ 33年度 (1992～ 2021年度)	9.4	124	11,627,553	5	6	100.0 28年度 (2016年度) 換地処分
中野中央	平成5～ 37年度 (1993～ 2025年度)	18.4	210	10,971,806	239,991	328,334	44.5 45.6
宇津木	平成6～ 39年度 (1994～ 2027年度)	55.0	295	8,519,084	754,744	615,284	31.5 33.1
中野西	平成10～ 41年度 (1998～ 2029年度)	54.6	723	5,596,077	238,727	395,848	4.4 4.6
川口	平成30～ 36年度 (2018～ 2024年度)	172.3	169 2			960,000	
土地区画 整理推進					2,315	2,382	
計		339.4	1,923	75,988,832	1,401,500	2,425,974	

1 建物移転進捗率は30年度(2018年度)未見込 31年度(2019年度)未見込

2 うち市助成金約43.8億円

平成31年度(2019)予算額の財源内訳					実施内容 (事業費)
国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
				165,718	出来高確認及び公共用地確定 (11,842) 換地設計準備 (40,007) 引継図書作成 (11,774) 区画道路工事 (86,186)
			5		換地清算金分割納付分徴収 (5)
52,100	26,050	68,400		93,441	街路築造等工事 (25,360) 移転補償 建物移転5戸8棟等 (162,041) 境界点測量 (5,119)
103,300	75,610	296,200		279,634	街路築造等工事 (255,380) 移転補償 建物移転6戸8棟等 (360,182)
22,500	11,250	74,100		130,877	街路築造等工事 (36,610) 移転補償 建物移転3戸3棟等 (113,066) 事業計画変更検討 (44,974)
			331	1,984	
177,900	112,910	438,700	336	671,654	

【事業効果】

- ・ 宅地の利用促進
- ・ 密集市街地を解消し、防災・防犯機能を向上
- ・ 都市基盤を整備し、良好な都市機能を維持

基本計画	4	施策番号	32	総合戦略	-	予算科目	8	3	8	道路交通部計画課・建設課	
事務事業名	都市計画道路の整備									説明書ページ	269
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	486,110	120,500	60,250	250,000	55,360					
	30年度(2018)	408,304	64,350	53,225	212,800	77,929					
	対前年	77,806	56,150	7,025	37,200	22,569					
29年度(2017)決算	192,679	30,250	18,075	82,600	61,754						
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~ の計	は 事業費に含む					
31年度(2019)	514,970	3.7人 28,860			28,860						
30年度(2018)	431,704	3.0人 23,400			23,400						

- 1 都市計画道路3・4・54号線(暁町)の整備 302,743
 台町一丁目地内の都市計画道路3・3・10号線から西八王子駅東側、市役所本庁舎を経て、大和田町七丁目地内の都市計画道路3・4・46号線に至る全長約5,790メートルの計画道路のうち、国道16号からひよどり山トンネルまでの延長936メートルの整備を行う。
 本年度は、用地取得を行う。

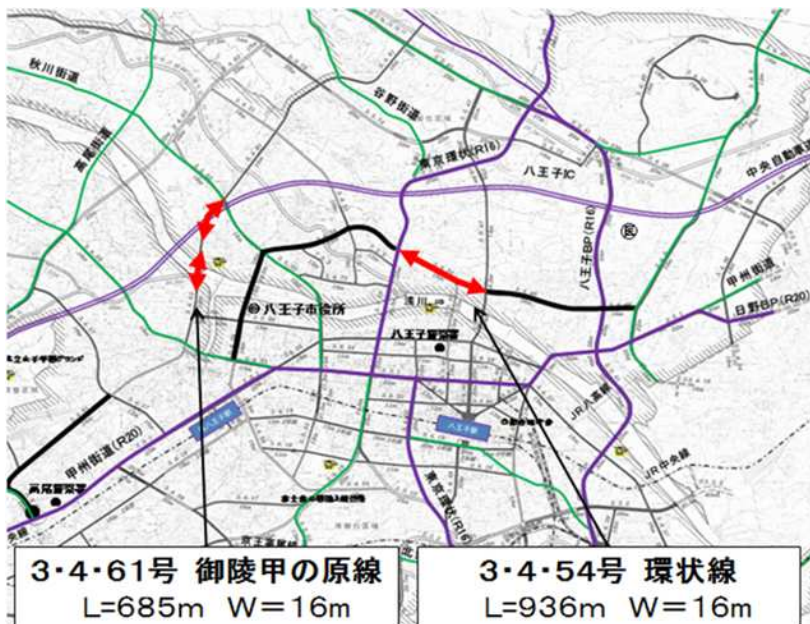
主な経費

用地取得費	202,900
移転補償費	90,000

- 2 都市計画道路3・4・61号線の整備 183,367
 国道411号(滝山街道)から多摩御陵参道に至る全長約6,800メートルの計画道路のうち、主要地方道32号(秋川街道)から横川町住宅までの延長685メートルの整備を行う。
 本年度は、用地取得を行うとともに、橋りょう実施設計を行う。

主な経費

橋りょう詳細設計委託料	27,390
用地取得費	35,661
移転補償費	105,000



- 【事業効果】
- ・ 地域間の連携・交流の促進
 - ・ 災害時における市街地への流入交通の抑制や歩行者の安全性確保
 - ・ 避難路、輸送路の確保などの防災機能の強化

基本計画	4	施策番号	34	総合戦略	-	予算科目	8	3	8	道路交通部計画課・建設課	
事務事業名	北西部幹線道路(2工区)の整備						説明書ページ	269			
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	764,499	80,000	54,500	525,700	104,299					
	30年度(2018)	773,689	143,000	119,200	444,400	67,089					
	対前年	9,190	63,000	64,700	81,300	37,210					
29年度(2017)決算	788,747	93,500	107,750	479,200	108,297						
	事業費+職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~の計	は事業費に含む					
31年度(2019)	784,779	2.6人 20,280			20,280						
30年度(2018)	795,529	2.8人 21,840			21,840						

圏央道八王子西インターチェンジから国道16号に至る全長約8,830メートルの計画道路のうち、主要地方道61号山田宮の前線(美山街道)から宝生寺団地にアクセスする幹線2級26号線までの延長958メートルを整備する。

本年度は、用地取得及び環境アセスメント調査を行うとともに、橋りょう工事を行う。

1 都市計画道路3・3・74号線2工区 of 整備

764,499

主な経費

環境アセスメント調査委託料	9,662
橋りょう(下部工)工事費	156,000
用地取得費	229,935
移転補償費	335,000



< 用地取得費 36,900 >
 用地取得面積の減によるもの

【事業効果】

- ・ 地域間の連携・交流の促進
- ・ 流通業務機能の強化
- ・ 災害拠点病院である「東京医科大学八王子医療センター」へのアクセス性向上

基本計画	4	施策番号	28	総合戦略		予算科目	8	3	9	まちなみ整備部公園課	
事務事業名	(充)公園の整備							説明書ページ	269～271		
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	388,962	13,500	7,500	229,800	138,162					
	30年度(2018)	439,761	18,900	37,400	199,500	160,161	23,800				
	対前年	50,799	5,400	29,900	30,300	21,999	23,800				
29年度(2017)決算	364,213	48,400	21,489	10,600	283,724						
	事業費+職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～の計	は					
31年度(2019)	443,562	7.0人 54,600			54,600	事業費に含む					
30年度(2018)	494,361	7.0人 54,600			54,600						

1 公園施設整備 41,716
公園施設等の安全性を確保するため、平成29年(2017年)10月の台風第21号により被災した公園緑地について機能回復を図るための施設整備工事を行う。

主な経費

施設整備工事費 30,105
対象公園 みなみ野大船の尾根緑地、大塚ゆざわ公園

2 公園遊具の計画的更新 32,845
公園施設の老朽化に対する安全安心の確保と、効率的な維持管理につなげるため、「八王子市公園施設長寿命化計画」(平成28年度(2016年度)から10年間)に基づき遊具を計画的に更新する。

主な経費

施設改修工事費 30,000
対象公園数 3公園(3施設)

3 公園緑地急傾斜地法面整備 106,789
地震や豪雨などによる法面崩壊の危険から市民を守るため、大和田南緑地の整備工事を行う。

主な経費

施設整備工事費 106,642

スケジュール 平成30・31年度(2018・2019年度)
事業内容 実施設計、整備工事

4 片倉城跡公園整備 72,343
歴史的に貴重な城跡と市街地に残る良好なみどりを確保するため、都市計画公園区域内の民有地を取得する。

主な経費

用地取得費(297.66㎡) 36,017
用地取得に伴う補償費 34,340

5 富士森公園整備 5,000
歴史ある富士森公園の利便性向上と安全性確保のため、リニューアルを行う。
本年度は、公園内のサクラの再生を図るため、土壌改良等を行う。

サクラ再生委託料 5,000

- 6 (仮称)明神町中央公園整備 15,000
 地域防災機能の充実を図るとともに、子どもたちの健やかな成長を支え地域コミュニティの活性化に資する場とするため、旧都営アパート跡地を取得し、都市公園として整備する。
 本年度は公園整備に向けた実施設計を行う。

実施設計委託料 15,000

スケジュール 平成30～32年度(2018～2020年度)
 事業内容 基本計画策定、実施設計、用地取得、整備工事

- 7 (仮称)長沼柿の木坂公園整備 13,854
 利便性の向上のため、地域で利用されている広場を都市公園として整備する。

主な経費
 施設整備工事費 13,707

スケジュール 平成30・31年度(2018・2019年度)
 事業内容 実施設計、整備工事

- (新) 8 富士見台公園整備 101,415
 地域コミュニティの拠点とし、まちの賑わいを創出するため、東部地域の中央に位置する富士見台公園に大型複合遊具を設置するほか、トイレや園路の改修を行う。

主な経費
 実施設計委託料 5,000
 施設整備工事費 96,191

<公園施設整備 61,425>
 防犯カメラ設置完了による減

【事業効果】

- ・ 老朽化した公園施設を改修することによる市民の安全・安心の確保、快適さの向上
- ・ 市民のつながりの場・憩いの場の創出
- ・ 世代間交流による地域コミュニティの醸成
- ・ 子どもの健全育成の推進

参考 市民1人当たりの都市公園面積

平成30年度(2018年度) 12.18㎡

平成34年度(2022年度) 12.5㎡ (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	28	総合戦略	-	予算科目	8	3	10	環境部環境保全課	
事務事業名	まちのみどりの創出									説明書ページ	271
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	6,605	567			420	5,618				
	30年度(2018)	14,004	436			462	13,106				
	対前年	7,399	131			42	7,488				
29年度(2017)決算		6,136	77			807	5,252				
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	は 事業費に含む				
31年度(2019)		33,125	3.4人 26,520			26,520					
30年度(2018)		46,764	4.2人 32,760			32,760					

安全で快適な都市空間を形成するため、生け垣の造成に対して補助を行う。また、市民との協働による花づくり事業を展開して緑化の推進を図るとともに、緑の少ない都市部の民有地を中心に、緑化資材の援助を行う。さらに、全国都市緑化はちおうじフェアで培った知識や経験を継承していくため、みどりを育む担い手を育成する。

1 生け垣造成補助金 1,260

生け垣造成補助金 1,260

補助対象 生け垣造成及び既存ブロック塀等取壊しに要する経費

補助率 生け垣造成 1/2 (限度額 6万円)

通学路に面した倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去に伴うもの

5/6 (限度額 6万円)

既存ブロック塀等取り壊し 4/5 (限度額 3万円)

2 環境美化 1,849

主な経費

緑化資材等購入経費 1,518

3 全国都市緑化はちおうじフェアのレガシー継承 3,496

主な経費

講師謝礼 2,370

緑化資材等購入経費 1,068

スケジュール

グリーンパートナー養成講座

平成31年(2019年)4月開講 年10回開催

< 全国都市緑化はちおうじフェアのレガシー継承 施設整備工事費 5,000 >

富士森公園レガシー施設の整備完了による減

< 全国都市緑化はちおうじフェアのレガシー継承 次年度開催自治体への出展負担金 2,500 >

次年度開催フェアの終了による減

【事業効果】

- ・ 住宅地のみどりを確保し、うるおい豊かなまちなみを形成することによる住環境の向上
- ・ 街中のみどりを創出することによる都市景観とみどりの調和
- ・ みどりを育む担い手の活躍による街中のみどりの確保

基本計画	6	施策番号	48	総合戦略		予算科目	8	3	10	環境部環境保全課	
事務事業名	みどりの確保								説明書ページ	271	
	事業費	国庫支出金		都支出金		市債		その他	一般財源		
予算	31年度(2019)	28,868							28,868		
	30年度(2018)	29,484							29,484		
	対前年	616							616		
29年度(2017)決算	28,441								28,441		
	事業費 + 職員費	職員費		嘱託員		臨時職員		～ の計	・ は 事業費に含む		
31年度(2019)	32,768	0.5人	3,900					3,900			
30年度(2018)	34,164	0.6人	4,680					4,680			

市街地に残る貴重なみどりを保全するため、斜面緑地保全区域に指定した土地の所有者に対し、維持管理に要する費用の一部を助成する。

主な経費

斜面緑地保全区域支援金 28,443

対象地域 市街化区域(市街地)
 助成対象 指定区域内の土地所有者
 斜面緑地保全区域指定面積 286,992 m²
 うち新規指定面積 5,000 m²

<参考> みどりの保全基金
 基金残高

区 分	30年度末現在高 (2018)	31年度(2019)		31年度末現在高 (2019)
		積立額	取崩額	
みどりの保全基金	156,389	51,556		207,945

30年度(2018年度)末現在高は、2月補正予算までを反映した額

市内に残された貴重なみどりを市民共有の財産として確保し、緑化の推進を図るため、民有地の緑地取得に備え、計画的に基金を積み立てる。

基金の状況は9ページ

【事業効果】

・ 国や都の法律・条例(国定公園・自然公園など)で保全されない市街化区域内の良好なみどりを保全

参考 みどりの保全への取組の度合いをはかる市全域の「保全の対象とした緑地面積」
 平成29年度(2017年度) 173ha
 平成34年度(2022年度) 185ha (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	6	施策番号	48	総合戦略		予算科目	8	3	10	環境部環境保全課	
事務事業名	みどりの管理								説明書ページ	271	
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	21,412				3,744	17,668				
	30年度(2018)	26,783				3,691	23,092				
	対前年	5,371				53	5,424				
29年度(2017)決算		16,534				3,691	12,843				
		事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	は 事業費に含む				
31年度(2019)		46,372	3.2人 24,960			24,960					
30年度(2018)		53,303	3.4人 26,520			26,520					

森林・里山のみどりを保全するため、里山の適正な管理を行うとともに、緑地保護地区に指定した土地の所有者に対し、維持管理費に要する費用の一部を助成する。また、里山の重要性を発信し、市民参加による保全の仕組みづくりを行うほか、上川の里特別緑地保全地区内の広場、旧水田等の維持管理を地域住民に委託する。

本年度は、みどりを活かした豊かなまちづくりを推進するための「みどりの基本計画」の計画期間が平成31年度(2019年度)をもって満了することから、新たな10か年の計画を策定する。

- 1 緑地保護地区指定協力奨励金 4,131
 - 対象地域 市街化調整区域
 - 助成対象 指定地区内の土地所有者
 - 緑地保護地区指定面積 83,787 m²
 - うち新規指定面積 2,373 m²

- 2 東京都緑地保全地域植生管理受託 5,559
 - 受託地域 都が指定した緑地保全地域
 - 緑地保全地域面積 744,276 m²

- 3 里山保全 6,696
 - 主な経費
 - 里山保全講座講師謝礼 194
 - 清掃委託料(上川の里特別緑地保全地区) 1,350
 - 草刈・剪定委託料(上川の里特別緑地保全地区・金比羅緑地) 4,806

- 4 みどりの基本計画策定 4,145
 - 懇談会参加者謝礼 264
 - みどりの基本計画策定支援業務委託(平成30・31年度(2018・2019年度)継続) 3,881

みどりの基本計画

「都市緑地法」に基づいて策定され、市の公園・緑地の適正な配置と整備、自然環境の保全、都市緑化の推進、緑化の体制づくりなど、みどりに関する各種施策を取りまとめている計画

< 特別緑地保全地区整備 調査委託料 4,428 >
事業進捗による減

<p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑地保護地区の指定及び里山の適正な管理による市街化調整区域内の緑地の保全及び緑化の推進 参考 みどりの保全への取組の度合いをはかる市全域の「保全の対象とした緑地面積」 平成29年度(2017年度) 173ha 平成34年度(2022年度) 185ha (「八王子ビジョン2022」目標値)
--

基本計画	4	施策番号	29	総合戦略	-	予算科目	8	4	1	まちなみ整備部住宅政策課	
事務事業名	(充)耐震化促進								説明書ページ	273	
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	555,438	244,274	259,561					51,603		
	30年度(2018)	840,075	368,701	401,819					69,555		
	対前年	284,637	124,427	142,258					17,952		
29年度(2017)決算	208,727	83,130	112,459						13,138		
	事業費+職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~の計	は事業費に含む					
31年度(2019)	568,698	1.7人 13,260			13,260						
30年度(2018)	870,495	3.9人 30,420			30,420						

「八王子市耐震改修促進計画」に基づき、災害に強いまちづくりを推進するため、特定緊急輸送道路沿道建築物等の耐震診断、補強設計及び耐震改修に要する費用の一部を補助するほか、ブロック塀等の撤去等に要する費用の一部を補助する。

区分	対象	事業概要	補助率	予定件数	事業費
1 耐震化促進	昭和56年(1981年)5月以前に建てられた市内の木造住宅	普及啓発 アドバイザー派遣 耐震診断	- - 3/4	28棟	8,682
2 木造住宅耐震改修促進	昭和56年(1981年)5月以前に建てられた市内の木造住宅	耐震改修 耐震シェルター・防災ベッド設置	2/3 1/2	15 1	15,200
3 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進	昭和56年(1981年)5月以前に建てられた建築物のうち、特定緊急輸送道路に接する建築物で、特定緊急輸送道路の道路幅員のおおむね1/2を超える高さのもの	アドバイザー派遣 耐震診断 補強設計 耐震改修	- 2/3 5/6 5/6	5 7 7	382,297
4 一般緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進	昭和56年(1981年)5月以前に建てられた建築物のうち、一般緊急輸送道路に接する建築物で、一般緊急輸送道路の道路幅員のおおむね1/2を超える高さのもの	アドバイザー派遣 耐震診断 補強設計 耐震改修	- 4/5 2/3 2/3	- 1 -	8,741
5 分譲マンション耐震化促進	昭和56年(1981年)5月以前に建てられた市内の分譲マンション	アドバイザー派遣 耐震診断 補強設計 耐震改修	- 2/3 2/3 1/3	1 - 1	110,268
(新) 6 ブロック塀等緊急撤去・新設補助金	通学路に面した地震時に倒壊する恐れがあるコンクリートブロック塀等	診断 撤去・新設	1/2 5/6	5 100	30,250

特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進全体計画

区分	23~28年度 (2011~2017)		30年度 (2018)		31年度 (2019)		32年度以降 (2020以降)		計	
	棟数	決算額	棟数	決算見込	棟数	予算額	棟数	計画額	棟数	計画額
耐震診断	90棟	256,271	棟		5棟	2,377	棟		95棟	258,648
補強設計	30	90,560	1	1,029	7	18,951	35	80,331	73	190,871
耐震改修	28	1,339,134	5	153,426	7	359,448	44	2,292,902	84	4,144,910
計		1,685,965		154,455		380,776		2,373,233		4,594,429

< 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進 181,740 >
補助件数の減

< 分譲マンション耐震化促進 121,293 >
補助件数の減

【事業効果】

- ・ 災害時に重要な役割を果たす緊急輸送道路が沿道建築物の倒壊で不通となることを防止
- 参考 特定緊急輸送道路沿道の建築物耐震化率
平成29年度(2017年度) 90.8 %
平成34年度(2022年度) 96.6 % (「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	4	施策番号	28	総合戦略		予算科目	8	4	1	まちなみ整備部住宅政策課
事務事業名	(新)空き家等対策計画の策定								説明書ページ	273
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	5,567		2,574			2,993			
	30年度(2018)									
	対前年	5,567		2,574			2,993			
29年度(2017)決算										
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~ の計					
31年度(2019)	13,367	1.0人 7,800			7,800	・ は 事業費に含む				
30年度(2018)										

空き家の適正管理や利活用を促進するため、前年度に実施した空き家実態調査の結果を踏まえ、空き家等対策を総合的に実施する計画を策定する。

主な経費

(新) 空き家等対策計画策定業務委託料 5,000

スケジュール

平成31年(2019年)6~11月 第1~4回庁内検討会
12月 素案策定・パブリックコメント実施
平成32年(2020年) 2月 第5回庁内検討会
3月 計画策定

特定空家

放置すると倒壊等のおそれのある状態、著しく衛生上有害となるおそれのある状態、著しく景観を損なっている状態、その他周辺的生活環境の保全のために放置することが不適切である状態にある空き家

【事業効果】

- ・ 利活用促進による空き家の増加防止
- ・ 特定空家化の防止による安全・安心の確保

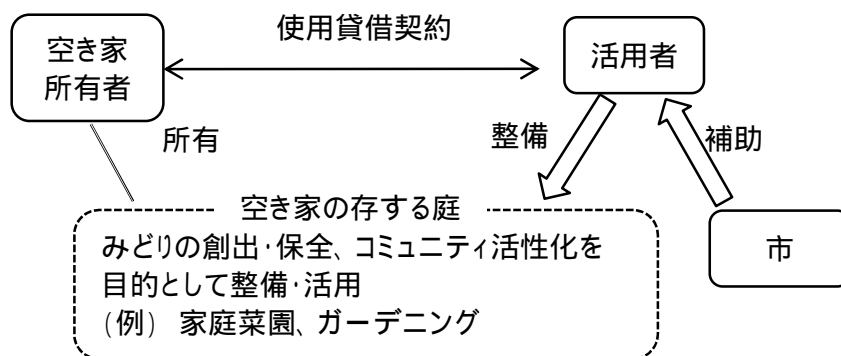
基本計画	4	施策番号	28	総合戦略		予算科目	8	4	1	まちなみ整備部住宅政策課
事務事業名	(充)空き家利活用促進								説明書ページ	273
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	31年度(2019)	3,000		2,500			500			
	30年度(2018)	5,153	1,687	2,531			935			
	対前年	2,153	1,687	31			435			
29年度(2017)決算										
	事業費+職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~の計	. は事業費に含む				
31年度(2019)	3,936	0.1人 936			936					
30年度(2018)	8,273	0.4人 3,120			3,120					

空き家の利活用を促進するため、空き家の所有者等が地域活性化施設として改修する費用の一部を補助する。

本年度は、みどりの創出や地域コミュニティの活性化を図るため、所有者から空き家の庭を借り受け整備する費用の一部を補助する。

1 空き家利活用促進整備助成	3,000
地域活性化施設改修補助金	1,000
補助率 1/2	
補助上限額 100万円	
(新) 貸し庭整備補助金	2,000
補助率 2/3	
補助上限額 200万円	

貸し庭整備補助の仕組み



< 空き家の実態把握 4,153 >
事業完了

地域活性化施設

集会・交流施設、体験・学習施設、ベンチャービジネスの拠点その他の地域の活性化に資する施設

【事業効果】

- ・ 市内の空き家利活用による安全・安心の確保
- ・ 地域活性化施設の整備による地域コミュニティの醸成
- ・ みどりの創出による住宅地内の良好な景観形成

基本計画	4	施策番号	28	総合戦略		予算科目	8	4	1	まちなみ整備部住宅政策課	
事務事業名	住宅セーフティネットの促進									説明書ページ	273
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	33,989	17,139	9,175		7,675					
	30年度(2018)	12,441	5,841	3,800		2,800					
	対前年	21,548	11,298	5,375		4,875					
29年度(2017)決算	13	13									
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	～ の計	・ は 事業費に含む					
31年度(2019)	45,689	1.5人 11,700			11,700						
30年度(2018)	23,361	1.4人 10,920			10,920						

住宅確保要配慮者の民間住宅への円滑な入居を促進するため、「住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度」に登録を行った賃貸住宅の改修費用、家賃及び家賃債務保証料を補助する。

- | | |
|---|------------|
| 1 居住支援協議会による住宅確保要配慮者への入居支援
主な経費
相談会相談員謝礼 | 289
120 |
| 2 登録住宅整備助成
補助対象者 賃貸人
補助率 5/6以内
限度額 250万円
対象住宅 住宅確保要配慮者向けに登録された賃貸住宅
対象工事 間取り変更・耐震改修・バリアフリー改修工事等 | 18,000 |
| 3 家賃低廉化助成
補助対象者 賃貸人
限度額 1戸当たり4万円/月
(民間賃貸住宅家賃と市営住宅家賃相当額との差額)
対象住宅 住宅確保要配慮者向けに登録された賃貸住宅のうち家賃の低廉化を行うもの | 14,800 |
| 4 家賃債務保証料低廉化助成
補助対象者 保証会社
限度額 1戸当たり6万円
補助対象 登録住宅に入居する住宅確保要配慮者が家賃債務保証を利用する場合の保証料のうち、保証会社が低廉化を行うもの | 900 |

住宅確保要配慮者

低額所得者、高齢者、障害者、子育て家庭、その他住宅の確保に特に配慮を要する方

【事業効果】

- ・ 住宅に困窮する住宅確保要配慮者に低廉な家賃の民間賃貸住宅を供給するセーフティネットの役割
 - ・ 市内の空き家の活用を促進
 - ・ 市営住宅必要ストック数の不足105戸を補完
- | | | |
|----|---------------------------|--------|
| 参考 | 平成34年度(2022年度)市営住宅必要ストック数 | 1,515戸 |
| | 用途廃止を除いた市営住宅ストック数 | 1,410戸 |
- (「八王子市営住宅整備・管理計画」による)

基本計画	4	施策番号	28	総合戦略	-	予算科目	8	4	2	まちなみ整備部住宅政策課	
事務事業名	泉町団地の建替								説明書ページ	275	
	事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源					
予算	31年度(2019)	1,324,775	218,265	303,146	790,900			12,464			
	30年度(2018)	414,180	57,808	91,760	264,600			12			
	対前年	910,595	160,457	211,386	526,300			12,452			
29年度(2017)決算	195,430	86,858	48,254	55,400			4,918				
	事業費 + 職員費	職員費	嘱託員	臨時職員	~ の計	. は 事業費に含む					
31年度(2019)	1,334,915	1.3人 10,140			10,140						
30年度(2018)	421,980	1.0人 7,800			7,800						

居住者の安全を確保するため、泉町団地の建替えを行う。本年度は、本体工事を完了させるとともに外構工事等を行う。

主な経費

本体工事費(平成30・31年度(2018・2019年度)継続)	1,265,269
建築工事	
電気設備工事	
給排水衛生設備工事	
外構整備工事費	50,000

全体戸数 30棟117戸

全体事業費(平成27～32年度(2015～2020年度)) (単位 億円)

事業費	財源内訳			
	国庫支出金	都支出金	市債	一般財源
21.9	3.9	4.5	12.5	1.0

スケジュール

平成28年度(2016年度)	整備計画策定
平成29年度(2017年度)	建築実施設計、解体工事
平成30年度(2018年度)	建築工事(1年目)
平成31年度(2019年度)	建築工事(2年目)、外構工事
平成32年度(2020年度)	入居開始(6月)

【事業効果】

- ・ 老朽化した市営住宅団地の安全性の確保
- ・ 住宅セーフティネット機能の一層の充実
- ・ 市営住宅ストックの適正な管理